

2015年6月23日(火)

開場：18時 開会：18時30分

場所：日比谷野外音楽堂 (裏面地図参照)

- ① 主催者あいさつ
- ② 来賓あいさつ
- ③ 情勢報告 (戦争をさせない1000人委員会)
- ④ 各労働組合・団体からの決意表明
- ⑤ 集会後デモ

安保法制関連法案  
沖縄・辺野古基地建設阻止!

戦争への道を  
ゆるさない  
6.23東京集会

主催：戦争をさせない東京1000人委員会

(連絡先)：戦争をさせない東京1000人委員会 TEL:03-5443-4110

取扱団体：全国労働組合連絡協議会 東京協議会(東京全労協) TEL:03-5403-1650

# 戦争への道をゆるさない6・23東京集会呼びかけ

敗戦から70年、私たちはいま重大な岐路に立っています。集会開催日の6月23日は沖縄県民が先の敗戦で20万人以上の犠牲者をだした人たちの冥福と世界平和を願う「慰霊の日」です。

「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し」た平和憲法下の戦後日本が、安倍晋三政権の手で、〈戦争のできる国〉に向け大きく方向転換させられようとしているのです。

安倍政権は昨年7月、憲法解釈を変更し、「集団的自衛権の行使容認」を閣議決定しました。それに基づき、今国会で「安保法制」関連法案を提出・成立させようとしています。

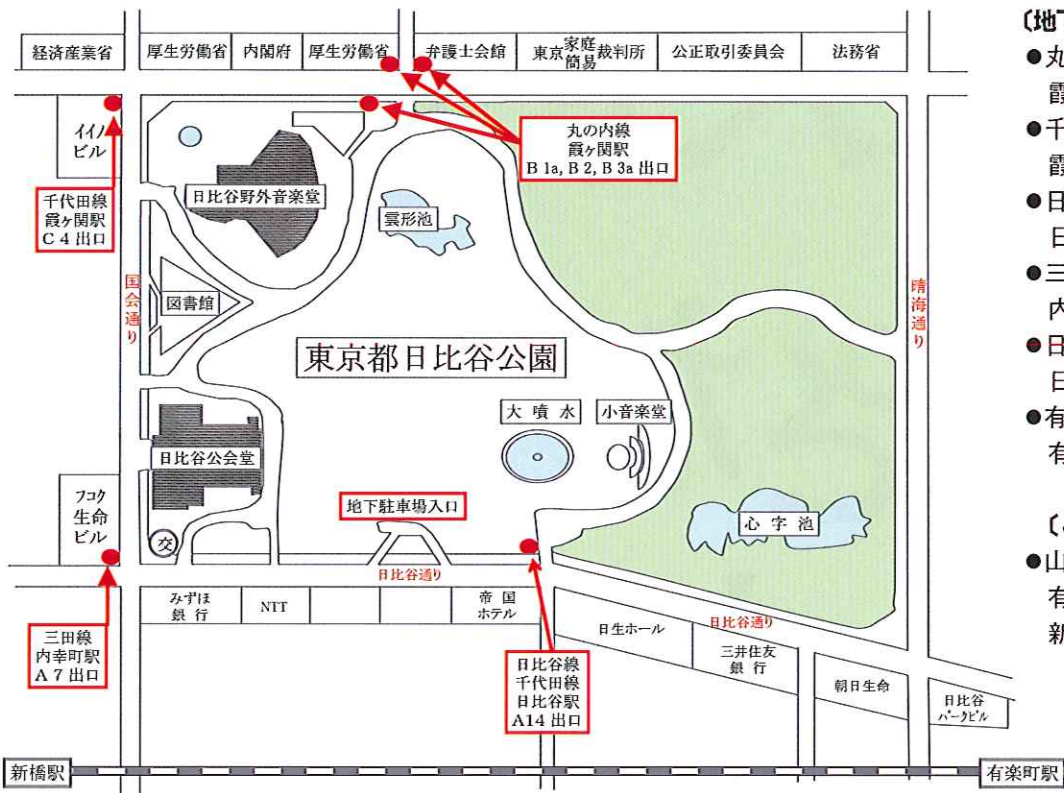
「安保法制」と政府は言いますが、実態はどうみても米国の戦争に参加するための「戦争法制」です。米国に対する武力攻撃に自衛隊が反撃する。海外派兵恒久法を作り、いつでもどこにでも自衛隊を派遣できるようにする。武器使用基準も大幅に緩

和する……。

2012年末以来、安倍政権がやってきたこと——秘密保護法の強行制定、国家安全保障会議設置、武器輸出3原則の廃止、沖縄・辺野古への新基地建設工事の強行、それらはすべて、日本を〈戦争のできる国〉に作り変えるための布石です。調子に乗った安倍首相は「来年の参院選後の改憲」まで公言しています。

その一方、原発再稼働、労働法制、労働者派遣法改悪、TPP、消費税増税など、労働者・市民の生活破壊政策もとどまりません。

戦争への高速道路を逆走する安倍〈壊憲〉政権に「待った」をかけることができるのはだれか。労働者・労働組合・市民の団結した闘い以外にありません。今年の「10・17集会」に続いて6・23集会に結集し、安倍政権の企む「戦争法制」にNO！の声を突きつけましょう。



## 〔地下鉄〕

- 丸の内線  
霞ヶ関駅 (B1a, B2, B3a)
- 千代田線  
霞ヶ関駅 (C4)
- 日比谷線  
日比谷駅 (A14)
- 三田線  
内幸町駅 (A7)
- 日比谷線  
日比谷駅 (A14)
- 有楽町線  
有楽町駅 (日比谷口)

## 〔JR〕

- 山手線・京浜東北線  
有楽町駅 (日比谷口)  
新橋駅